

たんぽぽ うしん

第24号

〔編集人〕社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3 TEL：011-792-3969／FAX：011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
〔発行人〕北海道障害者団体定期刊行物協会 〔発行〕2014年7月10日発行(毎月10日発行) 〔定価〕20円

ロシア民族アンサンブル「エトノス」公演

社会福祉法人 札幌協働福祉会 地域総括部長 土屋 雅之

7月26日(土)午後1時30分から、拓北・あいの里地区センターに於いてロシア民族アンサンブル「エトノス」の公演が開催されることに決定いたしました。

このアンサンブルは、基本的に合唱団とロシア民族楽器演奏の2つのパートに分れており、そのレパートリーは広く、ジャンルも多様性にあふれております。

「エトノス」は芸術学校の高学年生や卒業生、また音楽大学や専門学校を卒業したプロの音楽家で構成され、サハリンはもとよりロシア全域で演奏し、コンクールでも様々な賞を受賞しております。日本はもとより韓国、中国、今年2月のソチオリンピックにも参加して好評を得ました。あいの里の地域でロシアの民謡と舞踊を披露し、ロシアの伝統を皆さんにお見せしたいと述べております。

どうぞ地域の多くの皆様方のご鑑賞をお待ちしております。

行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 7月26日(土)～27日(日)
あいの里あいあい祭り



《札幌協働福祉会の行事予定》

- 7月13日(日) 仁木町さくらんぼ祭りに参加
- 7月19日(土)～21日(月)
余暇支援旅行(サロマ湖周辺)
- 7月22日(火)～8月10日(日)
福島プロジェクト2014(夏)
- 7月26日(土)
ロシア・サハリン州民族アンサンブル公演

ノーモア・チェルノブイリ、ノーモア・フクシマ
＜東日本大地震被災者支援＞

ロシア・サハリン州民族アンサンブル チャリティ公演



7月26日(土) あいの里公演

会場／拓北・あいの里地区センター
(札幌市北区あいの里1条6丁目)

開場 13:00 開演 13:30

入場料 無料

主催／社会福祉法人 札幌協働福祉会
協力／NPO法人 北海道日本ロシア協会
後援／拓北・あいの里連合町内会
拓北・あいの里社会福祉協議会
問合せ／社会福祉法人 札幌協働福祉会
TEL 011-792-3969

6/14(土)

当別・高岡スウェーデンヒルズ祭

6月14日、札幌協働福祉会では当別・高岡アクティビティーセンターを会場に「第14回当別・高岡スウェーデンヒルズ祭」を開催しました。



ユーザー代表、加茂なつきさんの挨拶

当初、祭りは昨年同様に屋外特設会場での開催を予定していましたが、天候の不安定、グラウンドが水浸しなどの理由で会場は体育館に移し開かれました。

オープニングは「ドリームズマウンテン」の元気な演奏、挨拶を挟んで幾つかのバンドが続いて登場し賑やかな会場になりました。さらに「すっこけダンス」「よさこい」のチームが祭りを盛り上げました。



ドリームズマウンテンの演奏から開始



高岡町内会会長 石田秀人氏 スウェーデンヒルズ町内会会長佐藤友彦氏



辰田理事長 拓北・あいの里連合町内会会長 松井正彦氏

よさこい「すっこけダンス」の演奏



飲食物は屋外テントで販売



よさこいチームの紹介をする粟野優達さん



おじさんバンドカントリーOJBも出演



あいの里ママさん吹奏楽団の演奏



司会のよねさんこと谷崎尚之(中)による大抽選会



盛り上がったひよっこ踊り

6/10(火)~16(月)

サハリン青少年少女 招待旅行



サハリン青少年少女招待実行委員会は6月10日~16日までの7日間、ユジノサハリンスクの「プレオドレニエ・リハビリセンター」から児童、引率者の皆さん15名を北海道へ招待しました。昨年は同じサハリン州ですが別の施設を招待。実行委員会が主催した招待旅行は2回目になります。

11日夜には拓北・あいの里地区センターで一行を歓迎する会が開かれ、お互いの国の文化を歌や踊りなどを通じて紹介、楽しい歓迎の夜となりました。

一行は札幌市内観光や札幌協働福祉会のイベントに参加し、初夏の北海道を堪能。帰路へと向かいました。



来道して最初の夕食=「しょさんべつ温泉」で10日

カラフルな衣装で美しいハーモニー(上)五郎連の皆さんと踊りの輪(下)あいの里の歓迎会で11日



お土産選び=砂川市で11日



円山動物園にて 中央区で12日



お菓子の世界「白い恋人パーク」にて=西区で12日



大倉山ジャンプ競技場にて=中央区で12日

アリサちゃん(右)が代表で北区長に挨拶=北区で13日

披露=当別町で14日



見送りを受け帰国の途=稚内市で16日



インタビュー 2

拓北あいの里ケア施設町内会
事務局長
(北海道医療大学看護福祉学部准教授)

長谷川 聡氏

全国初のケア施設町内会がこのエリアに発足したのは2011年2月。
福祉・医療・介護の施設職員とその分野の専門家が会員。一体、どんな町内会なのか、
長谷川さんに伺いました。

安心できる福祉サービスのある町に

▼発足から3年余、ケア町内会がめざしてきたものは？

長谷川氏 福祉施設と地域の関係を築くことです。多くの施設は地域との交流をもたない。地域の側も必要に迫られるまで接触がない。“地域福祉”といわれるが、付き合いがない中では痒いところに手の届くケアはできません。3.11 東日本大震災の前ですが、グループホームの火災で死者が出た。ところが、近所の人はそのグループホームと知らなかった。あっ、そういうことかと。普段からの近所付き合い、助け合いが大事なんです。誰でも歳を取ったら、介護が必要です。でも、元気なうちからお付き合いしたり、お世話したりする。そうした助け合う関係を日常的に地域につくっていくということです。

▼これまでどんな活動を？

長谷川氏 月例勉強会や住民向け講演会、介護の説明相談会、施設同士のお付き合い、町内会行事への参加など。顔が見えると相談が始まります。近所に困っている人がいると直接、施設にコンタクトするようになりました。施設側も住民ボランティアを頼みやすくなった。施設のサービスを住民に知ってもらおう貴重な機会なので。

▼なぜ町内会なのですか？

長谷川氏 連携と言うが、それは互いのメリットがないと付き合わない。そうではなく、住民も施設も地域の一員として助け合う、責任をわかちあうこと、連帯が大切です。ご近所の交流と助

け合いだから、町内会加入なのです。親の介護のために、あいの里から引っ越して出て行った人たちを知っていますが、安心できる介護・福祉サービスがある町、親を呼び寄せられる町にしていきたいですね。

▼札幌協働福祉会について。

長谷川氏 地域手当で拓北・あいの里への居住を進めています。積極的に地域と関わろうとしています。障がいのある方へのサービスを提供しているわけですが、今後彼らも歳を取り、その家族も高齢化していきます。地域に受け入れる場所が必要です。この町の足りないものを一緒に考えていくパートナーとして、これからもお付き合いしていきたいですね。



ケア施設町内会のメーリングリストに参加しませんか。
協働福祉会は法人会員ですので、全職員が会員です。
参加申込みは下記のアドレスまで。
■E-mail:haseg@hoku-iryo-u.ac.jp



地域行事の紹介

拓北・あいの里地区 社会福祉協議会総会開催される

5月24日(土)、午後5時より、拓北・あいの里地区センターに於いて平成26年度の拓北・あいの里地区社会福祉協議会総会が開催されました。

平成25年度の事業報告及び決算報告、平成26年度の事業計画(案)及び予算(案)が原案どおり承認され、引き続き役員改選も行われて、伊藤昭会長他の新役員も執行部の提案どおりに



拓北・あいの里連合町内会
松井正彦会長の締め乾杯

決定いたしました。

その後交流会も開催され、川畑恵北区保健福祉部長の挨拶、天羽浩篠路地区社会福祉協議会会長の乾杯で始まり、和気あいあいの中出席者の交流が進み、最後に松井正彦連合町内会会長の締め乾杯で和やかな交流会も閉会いたしました。

事業所紹介コーナー ②

あいのさとアクティビティーセンター

【障がい福祉サービス事業:生活介護】

1995年4月開設 定員40名

札幌市北区篠路町福移147-3

TEL 011-792-4373/FAX 011-792-4371



1995年4月、開所した当初は小規模作業所としてスタート。その翌年7月に新築された建物で、定員40名「通所授産施設」として展開しました。また、春に行われた『協力会・総会』でもお話しした通り、開設から来年で20周年を迎えるセンターは今年7月に法人本部隣に新築建て替えの工事が着工いたします。来年3月には完成の予定です。

『支援目標』

- ・ ノーマライゼーション
- ・ ユーザーとスタッフの対等な関係
- ・ 自己選択・自己決定

『支援方法』

- ・ ジェントルティーチング

当事業所のある篠路町福移は、拓北・あいの里地区に隣接し篠路湿原の自然豊かな風土

に育まれた地域です。事業所の周りには80aの農地があり、多数の野菜を栽培し販売しております。事業内容としては園芸活動の他に、和紙作り・藍染・下請け作業と文化・芸術・スポーツ(演劇・絵画・バンド・ダンス)等の多様な体験を活動のコンセプトに展開しております。また、ひと月の活動プログラムを作成し、季節に合った行事・買い物・お掃除等も取り入れ、生活のスキルを高める支援も行っています。

【文・アクティビティーセンター 桐尾 順子】



新人職員紹介

～2014年度 その①～

あいのさとアクティビティーセンター
品野 早紀



4月からあいのさとアクティビティーセンターに配属となりました品野早紀です。

仕事が始まりあっという間に2ヶ月が経ちました。一日一日を大切にこれからも沢山の事を学びながらユーザーの方々と充実した日々を過ごして行きたいと思っています。

宜しくお願い致します。

あいのさとサポートセンター 川又 稜



初めまして、川又稜と申します。サポートセンターで働き始めて2ヶ月になりましたが、未だ仕事ではミスばかりしております。

一日も早く一人前の支援員になれるよう努めていきたいと思っております。

山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設“山の家きょうどう”からの通信を毎号掲載します

6月1日(日)、快晴の下で第1回目の山の家's イベントが開かれた。札幌や小樽、余市などから協働福祉会のユーザーさん、原発事故の避難者さん、地元農家の方々など80人を超える親子連れが参加し、命のことを学ぶワークショップや餅つきを楽しんだ。(富塚)



**産地直送(仁木・余市)の
新鮮でおいしい
野菜・果物を販売!**

日時: **7月25日(金) 12:00 ~ 17:00**
場所: あいの里教育大駅前(ファミリーマートさん向い)
問合せ: 山の家きょうどう(富塚) TEL 090-1300-8314

こんにちは 仁木の山の家きょうどうです。



朝採り! 新鮮! おいしい! 仁木町や余市町の野菜やさくらんぼを札幌協働福祉会ふれあいセンターの協力で車両販売します。

余市町のさくらんぼ、スーパーでは手に入らない緑健トマト、生でもおいしいピーマン、きゅうり、レタスや葉もの、自然卵など。

お得なプレゼントやおいしくて体がよるこぶ自然食のお惣菜も販売する時間もあります。お楽しみに。

▼当日のスケジュール▼

- 12:00 ~ 産直スタート
- 14:00 ~ 白樺樹液石けんプレゼント
- 16:00 ~ 「自然食ホロ」の仁木余市の野菜をたくさん使った惣菜販売
- 17:00 ~ 余市町スルジェ農園 平飼自然卵1個プレゼント 終了 ※数量限定



HSK たんぽぽ通信 第24号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK 通巻508号
[発行] 2014年7月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3
TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)